

歯周病罹患率80%を
歯科衛生士の私たちが
変えていく!
Goodbye Perio Project

【参加したメンバー】
岩崎 るいさん
小林 佑紀さん
金銅(にんどう) 純子さん
佐々木 朋子さん
千田 美和さん
寺島 亜季さん
松本 はるみさん



DH同士がつながり、交流ができるGoodbye Perioプロジェクト。実際に、同じ地域で活躍するDHの存在が刺激になってメンバーになった方がたくさんいます。また、フェイスブックを通じて知り合い、日頃の取り組みをシェアするケースも。今回お届けするのは、名古屋市で活躍するメンバー7人が集まった際のレポートです。それぞれが近況報告をして意見交換をするうちに、今後みんなで取り組むべき新しい課題が見つかりました!

成功例や失敗談を仲間とシェアするなかで、
新しい企画が生まれています!



次回は
ミーティングat名古屋パート②
をお送りします。
千田さんは校長先生に向けて、
どんなお手紙を書いたのでしょうか?
お楽しみに!

それぞれの活動報告が、
次へのモチベーションにつながる

6月2日。名古屋市内のある会議室に、メンバー7人が集まりました。こうして話し合う場を設けたのはこれで2回目。初めて顔を合わせた際に、「これから定期的にミーティングをしよう!」と約束していたのです。久しぶりに仲間と再会し、自然と笑顔がこぼれます。

しかし、わきあいあいとしたムードも、近況報告が始まると一転。全員が真剣な表情に切り替わりました。

院内はもちろん、自分の住む地域や身近なところで行なってきた歯周病予防の取り組みを順番に発表していきます。どこでどんな人を対象にフロスの必要性を伝えただのか。どんなツールを使い、どんな切り口で話をしたのか。資料や写真をスクリーンに映し出し、成功例や反省点をシェアしました。

普段は一人ひとりで活動している彼女たち。仲間の活動報告が、今後のヒントになります。「どんな反応だった?」「何が一番響いた?」など質問し、うなずきながらメモを取るメンバーもいました。

”自分でフロスができる年代の子どもにみんなのアイデアで今後の目標が決定!”

なかでも熱い議論が起こったのは、金銅純子さんが幼稚園での啓蒙活動について報告したときです。

あるメンバーが「子どもが早いうちからフロスを習慣化できるように、仕上げにフロスを使ってもらうのは意味があると思う」と言うのと、「でも実際は忙しいからってやらないお母さんも多いよね」という現実的な意見がそして、流れを大きく変えたのが次のアイデアでした。

「自分でフロスができる年代の子どもたちに直接教えたら効率がよさそう。私たちは学校に掛け合って、小学4年生以降をターゲットにするのはどう?」

これには全員が大賛成! 学校の歯科検診では歯肉炎もチェックするため、「フロスを取り入れたら改善した」という結果を数値で表せます。まずは千田さんが代表で、校長先生に手紙を書くことに決まりました。

新しい企画が勢いよく生まれた今回のミーティング。目標が定まったメンバーの表情はイキイキとしていました。いま、実現に向けて着々と準備が進んでいるそうです。

*松本はるみさんより:「私も名古屋のミーティングに参加したい」という方、大歓迎です! ぜひ事務局(0120-177-981)を通じてご連絡ください。

自分の地域の歯科衛生士たちとつながれる! あなたもGoodbye Perioプロジェクトのメンバーになりませんか?

「日本から歯周病の人をなくしたい」そんな思いを持った歯科衛生士が集まるこのプロジェクト。地域ごとのミーティングも活発化! 一緒にイベントを企画するなかで、強い絆が生まれています。

登録は <http://perio.tuftclub.jp> で!



幼稚園での活動を報告する金銅さん